

9月是世界アルツハイマー月間 認知症とともにある地域を目指し、 さまざまな事業を展開

認知症は誰しもなり得る可能性があります。認知症の方が尊厳と希望をもって認知症とともに生きる、認知症であってもなくとも同じ社会で自分らしく生きていくことができる地域を目指しましょう。

区では認知症に関するさまざまな事業(左表)を展開しています。

事業名	内容
認知症サポーター養成講座	認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成します。
認知症カフェ	認知症カフェは、認知症の方とその家族、支援者、地域住民の誰もが気軽に参加できる交流場所です。
おれんじる〜む(認知症家族交流会)	認知症の方の介護経験があるご家族が集まり、お互いに不安や悩みを分かち合い息抜きをする交流会を開催しています。
おかえりサーチGPS	所持している人の位置情報を検索できるGPS端末を、外出先から帰宅困難になる可能性のある認知症の方を介護している家族などに3か月を限度に貸与します。
高齢者みまもりアイテム	ひとりでの外出に不安のある方に、見守り登録番号を記載した高齢者みまもりキーホルダーを配布しています。
地域みまもりアプリ「ただいまプロジェクト」	認知症などで、外出に不安のある方による行方不明や事故を防ぐため、地域の皆様の協力を見て見守り、保護するシステムです。ご登録いただくと、行方不明になった際の情報が協力者のスマートフォンに届きます。
認知症初期集中支援チーム	医師と介護・医療職で構成されるチームが、ご自宅で生活している認知症が疑われる方等を訪問し適切なサービスにつなげるように6か月を限度に支援しています。
認知症ガイドブックの配布(認知症ケアパス)	認知症に関する情報をまとめたガイドブックを配布しています。

ロタウイルスワクチンが定期予防接種に導入

令和2年8月1日以降に生まれ、
10月1日(木)以降に接種するお子さんが対象

10月1日(木)からロタウイルスワクチンの定期予防接種が始まります。

対象は令和2年8月1日以降に生まれたお子さんです。

国民年金の届け出を忘れずに 勤務先を退職、配偶者の扶養から 外れたときなど

国民年金は、日本国内に住む20歳以上60歳未満のすべての方が加入します。

次に該当する方は、江東年金事務所(亀戸5-16-19)または区民課年金係(区役所隣防災センター2階20番)、豊洲特別出張所・各出張所に加入の届出(江東年金事務所・区民課年金係への郵送可)が必要です。

- ①勤務先を退職したとき(厚生年金等の資格を喪失したとき)
- ②厚生年金等の加入者に扶養されていた配偶者が扶養から外れたとき
- ③外国から転入したとき
- ④外国へ転出したとき(任意加入) ※江東年金事務所または区民課年金係のみ受付

後までに27日以上の間隔をあけ、2回接種。

【ロタテックの場合】
出生6週0日後から32週0日後までに27日以上の間隔をあけ、3回接種。
※月齢が上がってからの初回接種は、副反応である腸重積のリスクが高まるため、出生14週6日後までに接種します

対象の方には9月中旬以降に予診票を送付しますので、10月1日以降に指定医療機関で接種してください。

【保健所保健予防課保健係】
☎(3647)5906
FAX(3615)7171

区内中小企業経営者、総務・ 人事担当者向けセミナー 危機管理の視点から見直す就業規則整備のポイント

10/15(木)

新型コロナウイルス感染症の流行により、テレワークなど就労形態の変更や、休業手当の支払い、職場の安全衛生対策と、これまで想定してこなかった事態への対応が企業に求められています。

今回のセミナーでは、危機管理の視点から見直す就業規則整備のポイントと、労働関係の最新支援情報についてお伝えします。

新しい働き方に向けて、労務管理の見直しや助成金など公的支援の活用を検討中の方は、ぜひご参加ください。

※詳細は、こうとう若者・女性しごとセンターホームページ(<https://koto-shigoto.jp/>)をご覧ください。



小学校低学年期の子どもたち 友だちとの関係づくり

今年は新型コロナウイルス禍により、社会全体にさまざまな制約があるなか、子どもたちも学校で、自由な生活を満喫するといふわけにはいかない状況に置かれています。

親たちがかつて過ごした小学生時代とは、まるで常識が変わったかのようです。

しかし、一方で「友だちとの関係づくり」という側面では、昔も今も変わらぬトラブルや悩みが存在します。なぜ普遍的なのかというと、実は、それが子どもの心の健全な成長にとっても避けられない、むしろとても意味ある発達課題だからです。

トラブルは成長のタネ

学校で友だちとの関係づくりが上手にいくことを、どのご家庭でも望んでいます。いろいろなことが起きるのがまさに現実です。そのとき親同士が心配してあれこれ言い合うと、かえって子ども同士

こどもの訴えをよく聴く

学童期、友だち関係の葛藤体験によって、こどもは人間らしいいろいろな感情の芽生えに出会いますが、その複雑で微妙な気持ちを言語化する語いはまだ持っていない。

「○○ちゃんとは遊びたくない」という言葉の背後にある、その子の本当の思いは何でしょうか。「○○ちゃんが嫌い」というより、「今はただひとりで静かに過ごしたい」のかもしれない。

見がぶつかる○○ちゃんより、気持ちを通じる△△ちゃんとして盛りがあって楽しく笑い合

地域教育課社会教育担当

☎(3647)9676
FAX(3647)9274